

長崎市立橘中学校 学校だより HP



「海風Ⅱ」

第 17 号 令和 7 年 3 月 24 日(月)

文責 校長 井上博之



○ 卒業証書授与式

3/14(金)に令和 6 年度第 38 回卒業証書授与式を行いました。ご来賓、保護者の方々に多数ご参加いただき、卒業生 150 人の門出を職員とともに祝福していただきました。

ご多用な中にご参列いただき、ありがとうございました。式辞の中で、「陽転思考」という考え方の一部を紹介させていただきました。「事実をありのままに受け入れ、うまくいかないことや失敗の中にも良かった点や教訓を探し、今自分にできることに全力を尽くす」という考え方です。義務教育を終え、高校・大学への進学、または社会人になっていきますが、これからの人生の中で失敗や挫折が一度も無く、全て順風満帆なことなどありません。そんな時、自分の考え方や物事のとらえ方を変えることで、気持ちが楽になり、前向きに一步を踏み出すことができると思います。皆さんの幸せな人生を心より願っています。



○ 本校の課題と今後の対策 (No.16号のつづき)

※HP 版では集計表は掲載しておりません。

【学校評価アンケートの結果と分析】(詳細)

長崎市立橘中学校 学校だより HP



「海風Ⅱ」

第 18 号 令和 7 年 3 月 24 日(月)

文責 校長 井上博之

○ 本校の課題と今後の対策 (№16、17 号のつづき)

※今年度は学校の課題をより精査するためにアンケートの方式を以下のように大きく変えました。

- ①4件法から5件法に変更(「どちらでもない」を選択肢に追加)
- ②教師の回答を「…指導している」と変更
- ③質問項目を「学校教育目標の実現」と「学校の課題」を中心に精査して変更

1. 全体的な状況 ※質問は 5 段階評価 (肯定的: 5+4、中間: 3、否定的: 2+1)

(1) 全項目の全体的な状況

- ・後期の教師評価で肯定的回答平均の最高値は 100% (№5 ルールやマナー)、次が 97% (№6 挨拶, №10 人権) で「心の教育」に関する項目が高い。
- ・後期の生徒回答で肯定的回答の最高値は 81% (№2 学校全体に活気があり明るく楽しい雰囲気) であり、前期 78%より向上。
- ・後期の生徒回答で肯定的回答の最低値は 35% (№9 いじめの予防、根絶の対策) であり、前期 (39%) よりも低下した。本校の大きな課題である。
- ・(№16: 家庭学習) も前回 (45%) 同様、後期も低い (46%)
- ・後期の保護者回答で肯定的回答の最高値は 80% (№7: 相手の気持ちを理解、協働) で前期 75%より向上した。
- ・後期の保護者回答で肯定的回答の最低値は 36% (№9: いじめの予防対策) であり、前期 43%と最低であり、生徒回答と共に最低であった。
- ・次に低いのは 40% (先生の授業は分かりやすい) で前期 (46%) より低下。
- ・(№16: 家庭学習) は後期は 47%で前期 44%より少し向上したが、課題である。
- ・前期で 43%と低かった (№17: 夢や希望) は後期は 53%に向上した。3 年生の進路指導、2 年生の職場体験学習の成果と考えられるが 1 年生は 37%と低く、3 年間を通してキャリア教育の充実が求められる。

2. 学校経営に関する 6 項目

教育目標に関する 6 項目の肯定的回答の合計 (%)

※HP 版では集計表は掲載しておりません。

○教員は前期よりもさらに教育目標に向けた 6 項目に対して意識して指導しており、全体の評価も項目別の 3 項目も向上していた。特に№14 (社会貢献) は 16 点と大幅に上がっていた。

○一方で、№18 (前向きに挑戦) は低下した。しかし保護者評価は向上。

○保護者の全体的な評価は変化していないが、各項目別にみると 4 項目は向上している。特に、№17 (夢や希望) と№18 (前向きに挑戦) は大きく向上した。

○生徒評価では№2「明るく楽しい雰囲気」は前期も高評価であったが後期はさらに向上した (78→81%)

△№3「校務分掌、体制」(62→60%)、№4「校務の縮減・効率化」(54→60%若干向上)は前期に引き続き今後の課題である。

【心の教育に関する 9 項目】（№5～№16）

- №10（人権教育）は教師（92→97）、保護者（66→71）にともに向上
- △№9（いじめ予防、根絶）は教師（85→77）、生徒（39→35）、保護者（43→36）と全て低下。先述の通り大きな課題である。
- △生徒の№11（平和を守る行動）（79→73）、教師の№12（必要な支援や指導）（92→87）生徒（74→64）が低下。特に生徒の低下が大きく、教育相談等の工夫が必要か？

【確かな学力に関する 6 項目】（№13～№19）※№15 は教師と生徒は別集計

- 教師の 14（社会貢献）（54→70）、№16（家庭学習）（50→70）、№17（将来の夢や希望）（77→83）が向上。№17 は保護者も大きく向上（43→53）
- △教師の№13（地域行事参加）（69→53）、№18（困難あきらめず挑戦）（92→80）は低下、保護者は向上（49→57）
- △保護者の№15（先生の授業は分かりやすい）は低下（46→40）

【健やかな体に関する 4 項目】（№20～№23）

- 教師の№20（健康指導、衛生管理）は向上（73→80）
- △生徒の№21（早寝早起き朝ごはん）は低下（66→60）

【信頼される学校に関する 4 項目】（№24～№27）

- △教師の№24（安全配慮）（96→90）、№25（便りや通信）（81→70）、№26（PTA や地域連携）（77→67）が低下。特に№26 の低下が大きい。
- 教師の№27（校内研修の充実）は大きく向上（35→53）したが、まだ数値的に低い。

【教育環境に関する 2 項目】（№28、№29）

- 職員の№28（教育環境の充実）（19→27）、№29（働きやすい環境づくり）（35→42）は大きく校向上したが、数値は依然低く、課題である。

【学校独自】（外部機関との積極的連携）※職員のみ

- 緊急対応を含め、市教委、児相、子育て、警察、教育研究所、医療機関と積極的に連携を図っている。今後も児相や医療機関との連携を広げることが必要。

長崎市立橘中学校 学校だより HP



「海風Ⅱ」

最終(第19)号 令和7年3月24日(月)

文責 校長 井上博之



○ 本校の課題と今後の対策 (No.16~18号のつづき)

【学校評価 教科に関する生徒評価 全教科・学年について各4項目】

※HP版では集計表は掲載しておりません。

- 学校評価は前期に比べ全体的には向上している教科、項目が多く見られた。
- 各教科、学年、学級ごとに見ると、生徒評価には差がみられるため、その要因を精査し、今後の授業・指導改善に役立てていくことが大切
- ①②は昨年度より向上してきたが、④については、①②に比べて前期・後期ともに低い。今後もさらに教材研究、授業研究を行い、授業改善を継続していくことが重要。
- タブレット PC の有効利用も少しずつ進んだ(教科によっては AI ドリル・キュービナの利用率が向上)したが、授業の中で、お互いの考えを共有し、深めるための有効利用等については「使い方の指導」に課題があり、今後も指導の徹底と対策、改善が必要。

【学力に関する各調査】(各数値は平均正答率 %)

※HP版では集計表は掲載しておりません。

- 学力調査結果や質問紙調査からは学力の一部と学習に関連のある生活状況等の特徴を見ることができる。
- 3年の平均点は中1から学年が上がるに従い、徐々に上昇していた。
- 前年度(R5)の質問紙調査で肯定的回答の割合が低かった「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについてわかるまで教えてくれる」がR6年度は向上した。
- 3年は国語、数学、理科に関して「勉強は好き」「授業内容はよくわかる」「将来役に立つ」等の肯定的な回答の割合が高い。
- 1, 2年生での授業について「考えを工夫して発表」「課題解決に向けて取り組む」「学んだことを生かしながら考えをまとめる」なども肯定的回答の割合が高い。
- この他、「自分には良いところがある」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」割合は、昨年同様、全国平均より高い。
- △「学校に行くのは楽しい」「人間関係に満足」は昨年度に比べて低下し、全国平均よりも低い
- △「地域や社会をよくするために何かしたい」「国語の解答時間は十分」は昨年と同様に低かった(時間内の国語の読解力に課題)
- △平日、休日のスマホ、ゲーム、動画視聴、SNS等の3時間以上の利用割合が高く、「PCやスマホ利用について家族との約束を守る」割合が低い。

- 全学年、全教科で、学習意欲や主体性において生徒の差が大きく、学力の差につながっている。
- 学級での安心できる学習環境の基盤となる、いじめや差別、偏見のない仲間づくり、学級・学年づくりが必要不可欠である。
- 授業での学びを始め、日々の学校生活や体験の全てが、自分の数年後の姿やその後の生き方に直結していくことが実感できるよう、キャリア教育を充実させることが必要。
- 授業研究、授業改革を進め、全ての生徒にとって、楽しくわかりやすく主体的に学べる授業を行っていくことと、個別の教育的支援の充実や通級指導教室の利用等、必要な支援を丁寧に行っていくことが重要である。

○ 修了式、離任式

3/24(月)に修了式、離任式を行いました。令和7年度の定期人事異動により、以下の先生方が退職、転出、異動となりました。これまで大変お世話になりました。

【退職】	9名
【転出】	4名
【異動、その他】	2名

最後に この2年間、保護者の皆様、地域の方々には大変お世話になりました。橘中学校は地元の方々に期待され、愛されており、生徒は明るく元気があり、素直です。先生方も愛情深く、教育熱心です。これからも学校の課題に1つ1つ真摯に向き合い、子供たちの成長と自立を目指して教師一丸となって取り組んでまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。